



# 車輪梅

<鹿島中学校 学校だより>

【令和3年3月号①】

感染症予防対策の徹底を！

《重点目標》『自立した品格を目指し 学び合い 認め高め合い 最後までやり遂げよう』

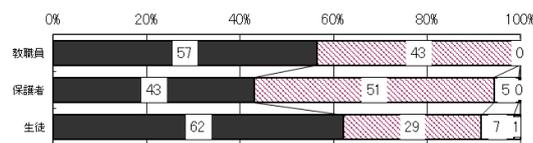
保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。皆様からの評価をもとに、鹿島中学校が、すべての生徒にとってよりよい教育活動の場になるよう、努めてまいります。今後とも、ご支援とご協力をお願い申し上げます、アンケートのお礼と結果のご報告とさせていただきます。

## <健康で忍耐強い生徒の育成>

### 9 学校行事に積極的に参加している。

今年度はコロナウイルス感染予防のため学校行事についての制限が多く、教職員が0.2ポイント減少しましたが、生徒の評価は昨年度と同じでした。様々な制限がある中で、自分たちでよりよいものを目指し、見通しを持ってその目標達成に向けて忍耐強く努力していく姿勢を育てることは、今年度の重点目標の達成に結びつくものです。教職員についても高い評価結果であることは、学校行事に多くの情熱をかけ、目標達成に向けて一丸となって取り組んでいることを示しているものととらえています。生徒についても制限がある中でも、その意欲的な取り組みにより成就感や達成感が得られ、有意義な活動であったという実感の表れであると考えられます。

9 学校行事に積極的に参加している。



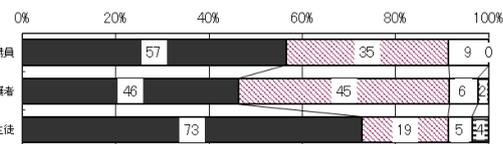
### 《今後の取り組み》

今後も学校行事を「成就感や達成感の感得を通して生徒の成長を図る機会」ととらえて指導に当たっていききたいと思います。

### 10 部活動に積極的に参加している。

昨年度との比較では教職員が0.1ポイント増加しましたが、保護者が0.1ポイント、生徒が0.4ポイントと減少しました。1、2年生は3.7ポイントと高評価でしたが、3年生は2.7ポイントと低い結果です。これは、新型コロナウイルス感染予防のため中体連総合大会や吹奏楽コンクールが中止になり、やり遂げられなかった思いが表れたものと考えられます。

10 部活動に積極的に参加している。



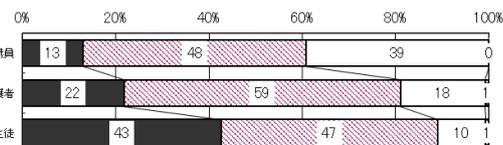
### 《今後の取り組み》

今後も、部活動を通して、体と心の面を伸ばし、達成感や成就感が自信につながるような指導を継続していききたいと思います。

### 11 何事にも諦めることなく、ねばり強く取り組もうとしている。

昨年度との比較では教職員と保護者が0.1ポイント、生徒は0.2ポイント増加しました。様々な制限がある中での生徒たちの取り組みが評価されたものと考えられます。教師の評価が厳しい結果であるのは、学力向上面に関する課題や、授業や生活場面で「もっとねばり強く取り組めば、より向上できる」という期待が込められているものと思われま

11 何事にも諦めることなく、ねばり強く取り組もうとしている。



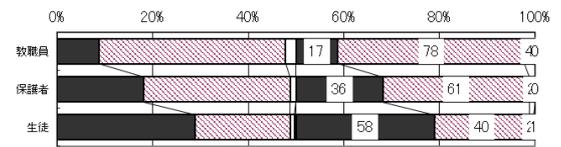
### 《今後の取り組み》

現在の鹿島中生徒に大きく求められている課題です。「諦めない」、「ねばり強い」姿勢の根底には、そこまでして取り組むんだという強い気持ちが必要です。そうした姿勢、強い気持ちを引き出すには、生徒自身が今何をすべきかを自分で考え、すべきことの必要性を強く実感することが欠かせません。生きる姿勢を学ぶべき偉人の話や広く国内外で活躍する地元ゆかりの人々との交流から、生き方に関わる具体的な目標を持つことができるような機会を多く設定し、心に働きかけていきたいと思います。

## 12 学校のルールを守って行動している。

昨年度との比較では保護者が0.1ポイントの減少となりました。A評価については保護者が36%、教職員が17%でしたが、生徒は48%と大多数の生徒がルールを守った生活ができているとの回答でした。ルールを守り、正しい規範意識の下で生活できている生徒が多いことの表われであると考えられます。一方、教職員の評価の低さは、まだまだ向上が見込めるといふ期待が込められているものと考えられます。

12 学校のルールを守って行動している。



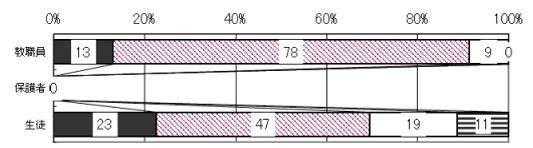
### 《今後の取り組み》

今後も一層高い評価となるよう継続して、機会を捉えて指導に当たるとともに、ルールを守っている多くの生徒を認めたり、よい場面については具体的に生徒を認めて賞賛していきたいと思ひます。

## 13 自分によいところがあると思う。

他のほとんどの項目において、教職員の評価の平均値の方が生徒よりも低く出ていますが、この項目では反対に教職員(3.0)、生徒(2.8)となりました。学年別に見てみると、1学年(2.72)、2学年(3.06)、3学年(2.69)と2学年以外は3.0を切る低い平均値となっています。思春期を迎え、これまでよりも自分を客観視できるようになってきたことや不安感が増大してきたことが要因であると考えられます。

13 教員は親身になって相談こえる。



### 《今後の取り組み》

自己肯定感については国際的に見ても日本が際立って低い項目であることを考えると、学校、家庭、地域社会が一体となって取り組むべき重要な課題です。できたことを教師が共に喜び、認め、賞賛するだけでなく、機会をとらえて取り組みの過程における頑張りや小さな変化を大切に、成長の手ごたえを実感させていくとともに、学校、家庭、地域社会のパイプをより太くし、生徒の良さを認め社会みんなで子供を育てていく体制の強化に努めていきたいと思ひます。

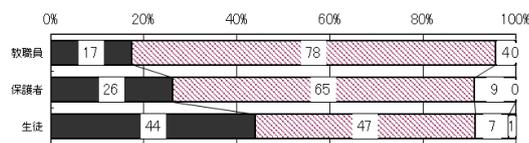
## 14 性に対してまじめに向き合い、自他の心と命を大切に考え生活している。

養護教諭、学級担任が計画的・継続的に取り組んでいます。生徒達は授業を通して自他の生命の大切さや性が自分の生き方に大きく関わってくるテーマであることを実感しているようです。

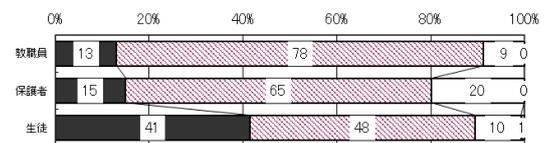
## 15 食と健康を意識して生活している。

朝食摂取率が97.0%、ふくしまっ子ごはんコンテスト応募率88.9%と高い値でした。今後も家庭との連携のもと食育を通して感謝の心、社会性、食文化への関心や尊重する心を高めていきたいと思ひます。

14 授業はわかりやすい。(生徒のみ)



15 食と健康を意識して生活している。



### <学校関係者評価委員より総括>

- 教職員の適切な指導の下、進路について生徒なりに考え目標を持って授業に臨んでいることが分かります。
- 家庭学習については、日々の学習の大切さをこれからも指導して行ってください。
- いじめについては、あってはならないし、許してはいけないということを生徒も認識していることが評価の高さからも分かりました。
- 命の大切さについても「いじめ防止」につながるため、引き続き指導をお願いします。
- 「自分にはよいところがあると思う」の項目については謙遜しているのかと思ひます。「学校生活が楽しい」の高い評価に安堵しました。
- 「学校行事に積極的に参加している」の項目では、教職員の評価が生徒より高いことが何とも微笑ましく感じます。教職員・生徒、学校全体の一体感が伝わります。
- 朝食をとることの大切さについては今後も指導をお願いします。
- 生徒たちが先生方に相談しやすい環境をこれからも作ってほしいと思ひます。
- コロナウイルス感染拡大防止に努力される中、「どうしたらできるか、やれるか」を教職員と生徒と一緒に考え、一連の行事を実施していただいたことに感謝します。